



平成24年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年4月10日

上場取引所 東

上場会社名 イワキ株式会社

コード番号 8095 URL <http://www.iwaki-kk.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岩城 修

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 高野 滋

TEL 03-3279-0481

四半期報告書提出予定日 平成24年4月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年11月期第1四半期の連結業績(平成23年12月1日～平成24年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年11月期第1四半期	12,337	△6.0	203	△47.5	253	△41.6	107	△52.4
23年11月期第1四半期	13,131	14.3	387	—	434	—	225	—

(注) 包括利益 24年11月期第1四半期 191百万円 (△44.0%) 23年11月期第1四半期 341百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年11月期第1四半期	3.17	—
23年11月期第1四半期	9.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年11月期第1四半期	34,816	15,293	43.9	452.62
23年11月期	35,119	15,238	43.4	450.96

(参考) 自己資本 24年11月期第1四半期 15,293百万円 23年11月期 15,238百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年11月期	—	3.00	—	4.00	7.00
24年11月期	—	—	—	—	—
24年11月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年11月期の連結業績予想(平成23年12月1日～平成24年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,000	△4.5	500	△33.8	540	△32.6	330	△77.9	9.77
通期	53,000	△1.5	1,100	△9.5	1,180	△11.3	700	△57.1	20.72

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年11月期1Q	34,147,737 株	23年11月期	34,147,737 株
② 期末自己株式数	24年11月期1Q	358,489 株	23年11月期	357,019 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年11月期1Q	33,790,015 株	23年11月期1Q	24,047,125 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成23年12月1日～平成24年2月29日）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により一時的に落ち込んだ企業の生産活動が持ち直すなど回復傾向が見られたものの、円高の影響等もあり、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと当社グループでは、海外サプライヤーとの連携強化や自社企画による商品の開発など、多様化・高度化するお客様のニーズへの対応力強化に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は123億3千7百万円（前年同期比6.0%減）、営業利益は2億3百万円（同47.5%減）、経常利益は2億5千3百万円（同41.6%減）、四半期純利益は1億7百万円（同52.4%減）となりました。

次にセグメントの概況につきご報告申し上げます。

【医薬品事業】

医療用医薬品は、「後発医薬品調剤体制加算」制度による後発医薬品使用促進策により、主力の外皮用剤や緩下剤などのジェネリック医薬品が好調に推移いたしました。また、受託品も伸長いたしました。

一般用医薬品は、強い冬型の気圧配置の影響により気温の低い日が多く、風邪関連商品、乾燥肌向けスキンケア商品等の季節品が伸長いたしました。また、インフルエンザ予防の関連でうがい薬、マスクも堅調に推移いたしました。

この結果、当事業全体の売上高は39億8千万円（前年同期比8.0%減）、営業損失は1百万円（前年同期は2千5百万円の営業損失）となりました。

【医薬品原料・化粧品原料事業】

医療用医薬品原料は、主力の解熱鎮痛剤が主要顧客への販売増加により大幅に伸長いたしました。一方、ジェネリック医薬品原料は、抗アレルギー剤の伸長があったものの下剤・利胆剤等は低調に推移いたしました。

一般用医薬品原料は、積極的な営業活動を展開した結果、風邪関連原料が順調に推移いたしました。一方、東日本大震災後に需要が拡大したものの、その後主力ユーザーの在庫調整期間にあたり全体的には低調に推移いたしました。また、主力の鼻炎用血管収縮剤は円高の影響もありましたが、営業活動の強化により堅調に推移いたしました。

化粧品原料は、新規取引先や取扱商品・受託加工品の拡大に向けた提案活動に注力した結果、受託加工品は堅調に推移いたしました。

この結果、当事業全体の売上高は32億4千9百万円（前年同期比8.4%減）、営業利益は2億2千2百万円（同3.3%減）となりました。

【化成品事業】

めっき薬品は、海外では半導体関連薬品が好調に推移したものの、電子部品関連薬品全体では堅調に推移いたしました。一方、国内では電子部品関連薬品であるハイブリッド自動車向け薬品は好調でしたが、プリント配線板関連薬品は大幅に落ち込み全体としては低調に推移いたしました。

特殊薬品は、ポリマー触媒が大幅に伸長いたしました。一方、医薬中間体は、需要の落ち込みがあり低調に推移いたしました。また、輸入品を中心とした化学品原料は、表面処理薬品原料や機能性樹脂向け原料が堅調に推移し、特殊溶剤や農薬原料は好調に推移いたしました。

この結果、当事業全体の売上高は22億3千3百万円（同1.9%減）、営業利益は2千7百万円（同82.7%減）となりました。

【食品原料・機能性食品事業】

輸入原料は、トマトパウダーや乾燥ポテトが大手食品メーカーの需要に支えられ伸長いたしました。一方、国内取扱い原料につきましては価格競争の激化や原料不足等の影響を受け低調に推移いたしました。

関連会社製品は、エキス系調味料が堅調に推移いたしました。また、機能性素材・スナック菓子向け調味料などの受託ビジネスも引き続き好調に推移いたしました。

サプリメント原料は、自社原料を主体に安全・安心な原料提供を基本とし、大手通信販売会社や受託製造会社への販売拡大に注力した結果、エイジングケア原料の新規納入と美容原料が好調に推移いたしました。

この結果、当事業全体の売上高は20億2千1百万円（同4.7%減）、営業利益は1億1千万円（同9.0%増）となりました。

【その他の事業】

当事業全体の売上高は8億5千2百万円（同0.5%減）、営業損失は5百万円（前年同期は6千4百万円の営業利益）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産348億1千6百万円（前連結会計年度末比3億2百万円減）、負債合計195億2千2百万円（同3億5千8百万円減）、純資産は152億9千3百万円（同5千5百万円増）となりました。

総資産の減少の主な理由は、現金及び預金の減少3億3千6百万円、受取手形及び売掛金の減少5億8千3百万円、電子記録債権の増加1億円、仕掛品の増加1億8千4百万円、原材料及び貯蔵品の増加1億2千2百万円、その他の固定資産の増加1億7千3百万円によるものです。負債合計の減少の主な理由は、支払手形及び買掛金の減少2億3千1百万円、短期借入金の増加2億円、未払費用の減少5億4千9百万円、未払法人税等の減少2億8千6百万円、その他の流動負債の増加2億9千8百万円、その他の固定負債の増加2億1千3百万円によるものです。純資産の増加の主な理由は利益剰余金の減少2千8百万円、その他有価証券評価差額金の増加7千万円によるものです。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月期の業績予想につきましては、平成24年1月13日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更および過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

法人税率の変更等による影響

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）および「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）が平成23年12月2日に公布され、平成24年12月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げおよび復興特別法人税の課税が行われることとなりました。

これに伴い、繰延税金資産および繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.0%から、平成24年12月1日に開始する連結会計年度から平成26年12月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については38.0%に、平成27年12月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については35.6%となります。

この税率の変更により、繰延税金資産（繰延税金負債を控除した後の金額）が33,089千円減少し、その他有価証券評価差額金の金額が17,034千円増加し、当第1四半期連結累計期間に計上された法人税等調整額（借方）が50,123千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,554,212	4,217,836
受取手形及び売掛金	14,055,770	13,472,089
電子記録債権	300,179	400,619
商品及び製品	3,279,344	3,365,772
仕掛品	583,042	767,851
原材料及び貯蔵品	566,227	688,811
その他	799,993	826,170
貸倒引当金	47,241	32,699
流動資産合計	24,091,529	23,706,451
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,021,295	8,010,742
減価償却累計額	5,133,810	5,133,411
建物及び構築物(純額)	2,887,485	2,877,330
機械装置及び運搬具	7,125,697	7,149,332
減価償却累計額	6,474,294	6,519,608
機械装置及び運搬具(純額)	651,402	629,724
土地	3,516,961	3,419,539
その他	2,028,622	2,228,005
減価償却累計額	1,624,469	1,650,177
その他(純額)	404,153	577,828
有形固定資産合計	7,460,002	7,504,423
無形固定資産	273,197	271,043
投資その他の資産		
投資有価証券	2,197,604	2,285,341
その他	1,278,746	1,232,304
貸倒引当金	181,953	182,977
投資その他の資産合計	3,294,398	3,334,668
固定資産合計	11,027,597	11,110,135
資産合計	35,119,126	34,816,587

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,146,028	10,914,492
短期借入金	2,962,000	3,162,000
未払費用	1,283,249	733,342
未払法人税等	428,164	142,054
その他	583,716	882,051
流動負債合計	16,403,158	15,833,940
固定負債		
長期借入金	1,477,500	1,437,000
退職給付引当金	1,469,060	1,507,104
その他	531,292	744,824
固定負債合計	3,477,853	3,688,928
負債合計	19,881,011	19,522,868
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,572,382	2,572,382
資本剰余金	4,206,965	4,206,965
利益剰余金	8,412,053	8,383,984
自己株式	80,048	80,333
株主資本合計	15,111,353	15,082,999
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	193,221	264,019
繰延ヘッジ損益	2,907	7,439
為替換算調整勘定	69,367	60,739
その他の包括利益累計額合計	126,761	210,719
純資産合計	15,238,115	15,293,718
負債純資産合計	35,119,126	34,816,587

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年12月 1 日 至 平成23年 2 月28日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年12月 1 日 至 平成24年 2 月29日)
売上高	13,131,520	12,337,259
売上原価	10,454,630	9,739,431
売上総利益	2,676,889	2,597,827
販売費及び一般管理費	2,289,696	2,394,569
営業利益	387,193	203,258
営業外収益		
受取利息	341	1,011
受取配当金	8,045	12,221
受取賃貸料	16,537	19,594
受託研究収入	37,366	30,107
その他	25,581	29,095
営業外収益合計	87,872	92,029
営業外費用		
支払利息	14,251	14,894
持分法による投資損失	5,064	7,577
賃借料	5,694	8,760
その他	15,342	10,306
営業外費用合計	40,351	41,538
経常利益	434,714	253,749
特別利益		
投資有価証券売却益	2,990	-
保険解約返戻金	18,177	-
固定資産売却益	-	86,330
特別利益合計	21,167	86,330
特別損失		
固定資産売却損	-	2,555
固定資産処分損	7,262	3,022
ゴルフ会員権評価損	-	3,260
株式交換費用	75,500	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	17,454	-
特別損失合計	100,217	8,837
税金等調整前四半期純利益	355,663	331,241
法人税、住民税及び事業税	229,204	151,029
法人税等調整額	127,746	73,107
法人税等合計	101,457	224,137
少数株主損益調整前四半期純利益	254,206	107,104
少数株主利益	29,009	-
四半期純利益	225,197	107,104

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年2月29日)
少数株主損益調整前四半期純利益	254,206	107,104
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	94,663	71,997
繰延ヘッジ損益	765	4,532
為替換算調整勘定	8,647	8,627
持分法適用会社に対する持分相当額	366	1,200
その他の包括利益合計	87,147	83,957
四半期包括利益	341,353	191,061
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	315,930	191,061
少数株主に係る四半期包括利益	25,423	-

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書 計上額 (注)3
	医薬品	医薬品原 料・化粧品 原料	化成品	食品原料・ 機能性食品	計				
売上高									
(1)外部顧客へ の売上高	4,326,595	3,549,241	2,276,817	2,122,068	12,274,722	856,798	13,131,520	-	13,131,520
(2)セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	23	145,538	-	-	145,561	2,641	148,202	148,202	-
計	4,326,618	3,694,779	2,276,817	2,122,068	12,420,283	859,440	13,279,723	148,202	13,131,520
セグメント利益 又は損失()	25,215	229,891	158,443	101,005	464,125	64,486	528,611	141,418	387,193

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器等の販売、プリント配線板等の製造プラント、化粧品の製造および販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失()の調整額 141,418千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 138,169千円および棚卸資産の調整額 3,248千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自平成23年12月1日 至平成24年2月29日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書 計上額 (注)3
	医薬品	医薬品原 料・化粧品 原料	化成品	食品原料・ 機能性食品	計				
売上高									
(1)外部顧客へ の売上高	3,980,723	3,249,688	2,233,102	2,021,587	11,485,101	852,157	12,337,259	-	12,337,259
(2)セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	9	94,357	-	-	94,366	2,617	96,984	96,984	-
計	3,980,732	3,344,045	2,233,102	2,021,587	11,579,467	854,775	12,434,243	96,984	12,337,259
セグメント利益 又は損失()	1,045	222,233	27,446	110,100	358,735	5,029	353,706	150,447	203,258

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器等の販売、プリント配線板等の製造プラント、化粧品の製造および販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失()の調整額 150,447千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 149,162千円および棚卸資産の調整額 1,285千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。